

業界の現状につ いてのレポート

電子部品市場概況



供給不足から供給過剰へ：世界的なチップ不足からの回復

2020年後半から2022年は、電子部品業界にとって悪名高い時期であり、その影響は長く続きました。2023年が終わろうとしていたときでさえ、極端な品薄、過去最高のリードタイム、大幅な価格変動の影響は顕著で、サプライチェーンがいかに強靱であっても、不均衡による影響は避けられないことを業界に思い起こさせました。半導体業界で豊富な経験を有する専門家さえ、サプライチェーンの混乱があまりにも多かたり需要が高すぎるなどにより、来月や来年の出来事を予測できないことについてプレッシャーを感じてきました。

世界的なチップ不足に苦しんでいた顧客にとって、その影響はキャンセル不可、返品不可の注文という形で現れ、供給過剰に繋がりました。そういった制約と共に、これらの注文は最大1年のリードタイムを伴うものでした。

その結果、買い過ぎの傾向が強まり、電子部品市場のさまざまな分野で大量の過剰在庫が発生しました。2023年におけるカーニーの調査によると、これは米国だけで250億ドル超の問題です。インフレ抑制法とCHIPSおよび科学法による前例のないチップ製造への投資にもかかわらず、この問題は、インフレや景気後退の懸念、資本と商品の価格高騰といった最近の経済的な苦境が発生したことで、大手製造業者が減産を行うことに繋がりました。

2023年初頭、状況を打破しようとしたこの試みは、結果的に過剰修正となりました。リードタイムは52週間ぶりの高水準から低下したものの、多くの部門で需要が減少したのです。価格は安定し、市場の主な問題は過剰在庫となりました。

業界関係者が過去2年間の教訓から学んだように、さらなる混乱とボトルネックを回避するためには、より慎重で計画的な調達戦略を採用することが不可欠となるでしょう。

フュージョン・ワールドワイドのセールスマネージャーであるジェラルド・マグナレリも、「顧客らは従来の戦略戦術を捨てていません。つまりやり方を変え、スリム化し、再構築し、より機敏にということです」と述べています。

マッキンゼーが指摘しているように、調達は、供給の安全を前提とするものから、混乱によるリスクと影響を軽減するためにポートフォリオを最適化するものに移行しつつあります。報告書は、「代替サプライヤの開発を加速し、リアルタイムデータの透明性を高め、調達データを統合されたビジネス計画に組み込むことで、コストの影響を抑えつつ、不足のリスクを特定し、緩和することができます。トレードオフを比較検討する際に、新たなアプローチを採用する企業が増えています」と記しています。

欧州委員会のウルズラ・フォン・デア・ライエン委員長は、欧州半導体法を導入する際に、おそらくそのことを最も巧みに言い表しました。委員長は、多様化、協力、不測の事態を含む戦略の重要性をはっきりと強調し、「どの国も、そしてどの大陸でさえも、完全に自給自足できるわけではないことは明らかでしょう」と述べたのです。

人工知能の進化とチップ製造業者の調整

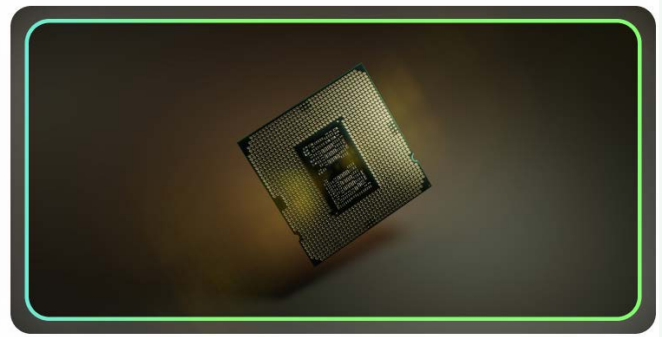
人工知能 (AI) は、急速に進歩し続けています。人工知能の進化に合わせて、先進的なチップやハードウェアなど、それらを構成するテクノロジーも進化しています。このテクノロジーは、2032年までに1兆3000億ドルの成長が見込まれており、電子部品市場の主要な原動力となっています。

AIは、GPUの需要が差し迫った変化を示した3月には、早くも市場に波及効果を及ぼし始めました。ChatGPT、DALL-E、Bardなどの生成型AIプログラムの登場により、2023年を通じて需要が急増しました。マッキンゼーの最近の市場調査は、企業は生成型AIを採用するようになってきており、今後数年間でこのテクノロジーがさらに広く採用されるだろうと予測しています。

2023年末の時点でも、AIは電子部品市場最大の牽引役のひとつであり続けています。AIは、家電やゲーミングのような既存の業界を凌駕しています。AIアプリケーションに必要な部品の価格、リードタイム、不足は、収束する気配がありません。

フュージョンのグローバル購買部門副責任者であるディラン・チューは、これには、進化するAIテクノロジーを欲している大規模なクラウドサーバプロバイダが含まれると述べています。

チューは、「大手サーバビルダからの需要が急増しています」と述べています。

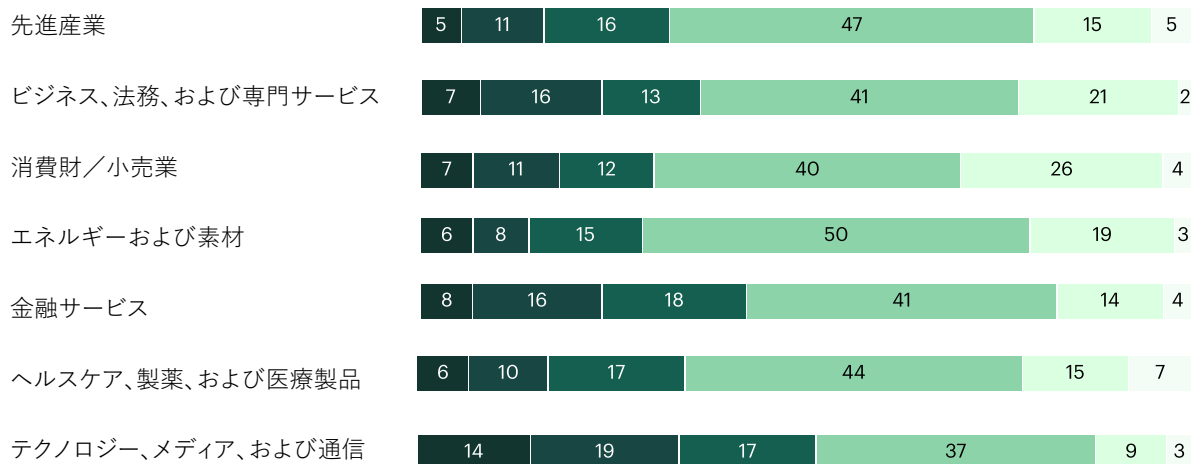


サーバ構築の場合、テクノロジスタックをサポートするAIハードウェアは、GPUやFPGAだけでなく、メモリ部品、インターコネクト、パッキング、システムにまで拡大します。

様々な地域、産業、およびシニアリティのレベルでの回答者は、既に生成型AIツールを使用していると述べています。

報告された生成型AIツールへの露出、対応者の割合 (%)

- 仕事で定期的を使用
- 仕事と仕事の外で定期的を使用
- 仕事の外で定期的を使用
- 少なくとも一度は試してみた
- 無露出
- 分からない



ソース: McKinsey Global Survey on AI、組織全体の1,684人の参加者、2023年4月11日から4月21日

注意: 丸め誤差のため、数値の合計が100%にならない場合があります。アジア太平洋地域ではn = 164、ヨーロッパではn = 515、北アメリカではn = 392、大中華圏(香港と台湾を含む)ではn = 337、発展途上市場(インド、ラテンアメリカ、中東、北アフリカを含む)ではn = 276。先進産業(自動車および組み立て、航空宇宙および国防、先進エレクトロニクスを含む)の場合、n = 96; ビジネス、法務、および専門サービスの場合、n = 215; 消費財および小売業の場合、n = 128; エネルギーおよび素材の場合、n = 96; 金融サービスの場合、n = 248; ヘルスケア、製薬、および医療製品の場合、n = 130; およびテクノロジー、メディア、および通信の場合、n = 244。C-suiteの回答者の場合、n = 541; シニアマネージャーの場合、n = 437; およびミドルマネージャーの場合、n = 339。1964年以前に生まれた回答者の場合、n = 143; 1965年から1980年の間に生まれた回答者の場合、n = 268; および1981年から1996年の間に生まれた回答者の場合、n = 80。全ての回答者に対して年齢の詳細が利用できませんでした。男性として識別する回答者の場合、n = 1,025; 女性として識別する回答者の場合、n = 156。調査サンプルには「非バイナリー」または「その他」として識別する回答者も含まれていますが、統計的に有意な数ではありません。

米中関係の複雑さ

米中貿易戦争が続く中、サプライチェーンは長い間ストレスを受けています。2018年にチップ製造と貿易に影響を与えた最初の関税以降、紛争が拡大しているため、先行きに対する大きな不安は拭えません。それ以来、私たちは誰が誰を規制し、次に何が起こるかを決めるという一進一退の攻防を目撃してきました。

米国が対中貿易を制限し続け、国家安全保障上のリスクとみなされるテクノロジーを発展させるための資源を制限しているため、これはさらに大きな課題となっていました。大手半導体製造業者のNVIDIAが米国内のAIチップの90%を供給していたものの、米国の最新の措置ではこれが制限され、中国は独自のチップ生産とテクノロジーの発展に力を入れるようになりました。

これは米中の緊張による影響の一例に過ぎませんが、電子部品のサプライチェーン全体が、長年にわたる貿易戦争の影響を常に受けています。企業が変わりゆく輸出ルールを順守し、先手を打つための努力を講じ続けることは難しくなりましたが、製造業者はそれが不可能ではないことを証明しています。各企業は、耐え忍ぶしかありませんでした。つまり、中国市場の魅力とチャンスは無視できないほど大きいということです。原材料のほとんどは依然として中国から調達されており、中国の消費者市場は停滞しています。同国のテクノロジーや研究開発も同様です。

関係をさらに複雑にしている背景には、中国が何としても避けたい潜在的な景気後退があります。米国が中国の半導体技術の利用を制限しようとする中で、中国が講ずるべき努力は複雑なものになるでしょうが、それは中国の自立に拍車をかけるでしょう。長期的には、これは米国のチップ製造業者の利益を損なう可能性が高いと思われます。



地域紛争から生じる脆弱性と不安定性

この数年間で私たちが学んだことがあるとすれば、それはサプライチェーンが脆弱であるということです。イスラエルと東欧で進行中の紛争は、電子部品業界に多くの脅威をもたらしています。

半導体であれ、メモリモジュールであれ、CPUであれ、電子機器を構成するすべての部品は、製造、機械、専門知識を必要とします。こういった部品は世界中から調達されており、紛争はこれらの取引だけでなく、投資や消費者の信頼にとっても脅威なのです。EYのCEO Outlook Pulse Surveyは、CEOの40%が、地政学的課題に対処するために半導体サプライチェーンを再構成したと報告しています。

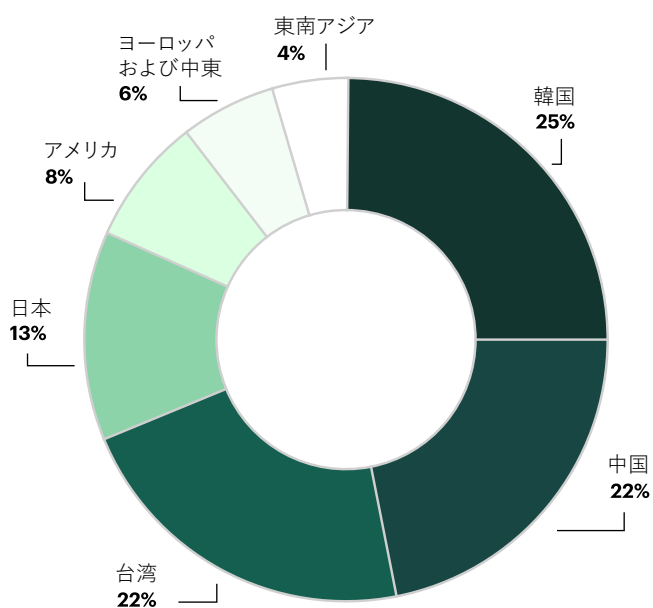
ウクライナ戦争により、パラジウムとネオンの入手が危ぶまれています。米国はパラジウム（センサやメモリモジュールの主要構成要素）の35%をロシアから調達しており、ウクライナは世界のネオンガス生産（半導体リソグラフィに必要）の70%近くを占めています。アルゴン、クリプトン、キセノンも、供給不足と価格変動のリスクがあります。

イスラエルは世界の半導体サプライチェーンで重要な役割を担っており、IntelとNVIDIAはともにイスラエルに拠点を置いています。イスラエルは、アジア以外で先進的なチップ製造が行われている数少ない場所のひとつです。現時点では、イスラエルの製造業者は物流面だけでなく、現存するハードルにも直面しています。フライトはキャンセルされ、流通業者は操業を停止しており、紛争の影響を受けた現地の労働者にとっては、仕事を優先できる状況ではない、あるいは就労可能ですらないかもしれないのです。

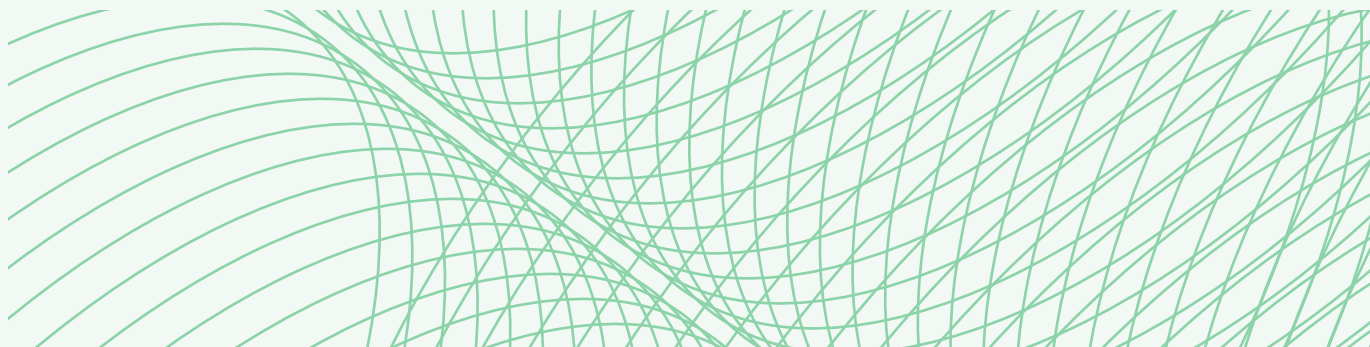


ほとんどのチップはどこで製造されていますか？

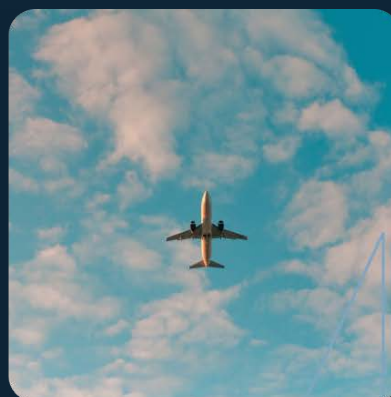
2022年の世界の半導体製造能力の分布、場所別*



*300mm fabs
ソース:SEMI 300mm Fab Outlook to 2026



注目すべき業界





航空宇宙&防衛

航空宇宙と防衛、双方の技術的構成への対応にあたり必要な部品に対して絶えず資金が投入されているように、航空宇宙および防衛産業の需要は、これまでと同様に強いものがあります。例えば、民間航空機は電氣的複雑性の面での発展が目覚ましく、信頼に足る供給源から部品を入手することは極めて重要です。

これらの必要部品は、座席構成、火災検知、気流管理、機内エンターテインメントだけでなく、すべての飛行機の安全、ナビゲーション、レーダー検知、および制御システムの一部を担っています。ただし、これらは、どの製造業者でも簡単に製造、供給できる部品ではありません。部品が業界のコンプライアンス基準に準拠していることを確認するための、徹底的な精査が要求されます。これらの基準は、航空宇宙および防衛産業のすべての顧客に業界固有の電子部品テスト方法が要求されるため、商業分野以外でも遵守されています。これにより、サプライヤにとって部品の精査は非常に面倒なものとなっています。

このプロセスは、ビルド用部品の調達に関して保守的な傾向で知られる両業界の従来の評判をさらに高めています。この保守的な性質は、2022年の供給不足以前には実現可能でしたが、需要が供給を上回り、信頼されている製造業者でさえ注文に対応できなくなると、航空宇宙産業と防衛産業は揺らぎ、公開市場に大きく依存するようになりました。

最近の地政学的な出来事も、緊張の高まりと外交政策のコミットメントへの直面を耐え忍んできた防衛分野の需要に影響を及ぼしています。米国政府とその請負業者は、国家安全保障上の目標を危険にさらすことはできません。

そのため、これらの業界大手は、サプライチェーンの強靭さを構築し、供給量を確保するために、非フランチャイズディストリビュータとの協力を開始しました。

結論:モルドール・インテリジェンスは、空軍が2028年まで他の部門を「支配」し、国防部門の先頭に立つと予測しており、複数のアナリストは、航空宇宙部門は今後10年にわたって成長を続けると予測しています。持続可能性の目標、AIの進歩、デジタル化を見据えたこのセクターでは、大規模な近代化が進んでいます。

重要なサプライチェーンの弾力性を構築し、管理するために、ABD企業の調査回答者にとってサプライヤーベースの多様化が最優先事項です。

36%

重要なサプライヤーに対するサプライヤーベースの多様化

20%

下位のサプライチェーン層におけるリスクとパフォーマンスの可視化を向上させる

18%

サプライチェーンの地元化と友好的な製造
(貿易協定のある国への製造のシフト)の促進

調査質問: あなたの組織が次の1年間でサプライチェーンの弾力性を構築し、管理するための最優先事項は何だと思えますか?

ソース:デロイトの展望調査



車載業界

車載業界は、世界的なチップ不足に対応するために一丸となり道を切り開く努力をしてきましたが、現在は状況が安定してきており、需要対応に苦闘する面はあったものの、概ね良好な見通しを立てています。フュージョン・ワールドワイドの四半期業績報告書、From the Source's Mouth (2023年9月版) で述べられているように、価格変動が車載部品に影響を与えています。供給制約により、MOSFET、IGBT、およびSiC部品のリードタイムが延びました。テラダインは、直近の決算発表で、車載検査市場における需要低迷の兆候を報告しました。ユナイテッド・マイクロコントローラは、2023年第4四半期に車載製品の在庫が予想以上に増加し、売上高が減少すると報告しました。

PwCは、米国の電気パワートレインとバッテリーだけでも、2021年の100億ドルから、2035年には1280億ドルに達すると予測しています。

フュージョン・ワールドワイドの車載製品による売上高は2021年以来5倍になっており、これは今後起こるであろう多くのことを示唆しています。電気自動車や自動運転車、その他の革新的な工芸品の台頭により車載技術の新時代が到来したことで、電気部品の需要はうなぎ登りの様相を呈しています。

この強気は自動車だけでなく、公共交通機関にも及んでいます。アクセンチュアによる業界調査では、回答者の32%が、2024年までに自動運転車が大量輸送の主流になると考えています。

それ以上に、進歩は他の業界におけるビジネス機会を生み出し続けています。アクセンチュアの報告では、「空域が次の開拓分野になれば、従来の輸送・交通手段はドローン配達やエアタクシーによって根底から覆されるでしょう」と述べられています。



結論:チップは、センサからセキュリティ、持続可能性に至るまで、あらゆる面で機能強化を可能にするために必要とされるでしょう。そのため、車載購入業者は、HPやAppleのように、チップ割り当ての序列で上位に位置しており、影響力が増大する可能性が高いでしょう。

車載業界は、世界的なチップ不足の中でいくつかの厳しい教訓を得ましたが、その教訓を短期的な軟調を乗り切るにあたり業界の回復力を高めるための糧とするよう精進しなければなりません。



受託製造業者

受託製造業者 (CM) は、サプライチェーンのインフラに不可欠です。これらの業者は、吟味されたネットワークによる信頼性、需要に応じたスピード、コスト削減と調達の合理化を支援するパートナーシップを提供しています。適応力もまた、その持続力の鍵です。近年では、受託製造業者がPPE、人工呼吸器、その他の医療機器の世界的な流通に貢献しています。

言い換えれば、この部門は、電子部品のサプライチェーンの中で常に必要な役割を果たすということです。CMの成功はクライアントの成功に大きく左右されますが、クライアントを多様化するという戦略的アプローチにより、複数の部門に同時に対応できます。フュージョンは最近、多くのCMが顧客とこれまで以上に緊密に提携し、顧客のコスト削減や調達の合理化を支援するために、サプライチェーン機能を担うようになってきていると報告しました。



データブリッジ・マーケットリサーチによれば、CMは、2029年まで業界の話題の主役であり続けるとのことです。同社は、電子製造サービス業界の成長率が7%を超えると予想される主な要因として、新興国を中心としたオフショアリングが増加したことから、規制環境の変化が前向きに激しくなっていることを挙げています。

製造業者の注目すべき話題: ジャビルは、車載およびヘルスケア事業の需要に牽引され、ここ数か月で多角的製造サービス(DMS)の業績が予想以上に好調であったことを明らかにしました。同社は、堅調な需要予測を受け、電気自動車と自動運転、AIクラウドソリューション、再生可能エネルギー、ヘルスケアへの投資を継続する計画です。



エンタープライズコンピューティング&サーバ

エンタープライズコンピューティングは、長年にわたり電子部品業界の心臓部となってきました。驚くには値しません、この部門は、AIを始めとする最もエキサイティングな機会の最前線にいます。さまざまな産業でデータとコンピューティングの必要性がますます高まっており、その潜在能力を最大限に発揮するためにはほぼ全面的にこの部門に依存することになるため、AI、IoT、グラフィックス、マルチメディア、通信などのイノベーションの波を決定づける上で、この部門は唯一無二の立場に位置付けられます。

そして、数年ぶりの日和見的な価格設定と接続性の継続的な進歩を利用するハイパースケーラの大きな成長が期待されます。しかし、データセンターのビルダ、所有者、運用者は、顧客が望むインフラを構築、運用するために、複数分野にわたるスキル不足を補う努力をし続けなければなりません。また、投資家や地方自治体による持続可能性要件の厳格化にも対応しなければなりません。

プロセッサとストレージに関してはIntelが長い間業界をリードしてきましたが、AIの時代に乗じて成功を収めたことで、NVIDIAがGPU、サーバ、SSDといった複数の製品カテゴリで市場を独占しています。しかし、NVIDIAの地位は、より大きな市場シェアを求める多くのテクノロジー大手との激しい競争に直面しています。何もせずに待っているわけにはいかないのは、Microsoft、AMD、Dellも同様でしょう。テストも、GONKがサーバー分野でAWSに対抗できることを期待して、この動きに乗じています。





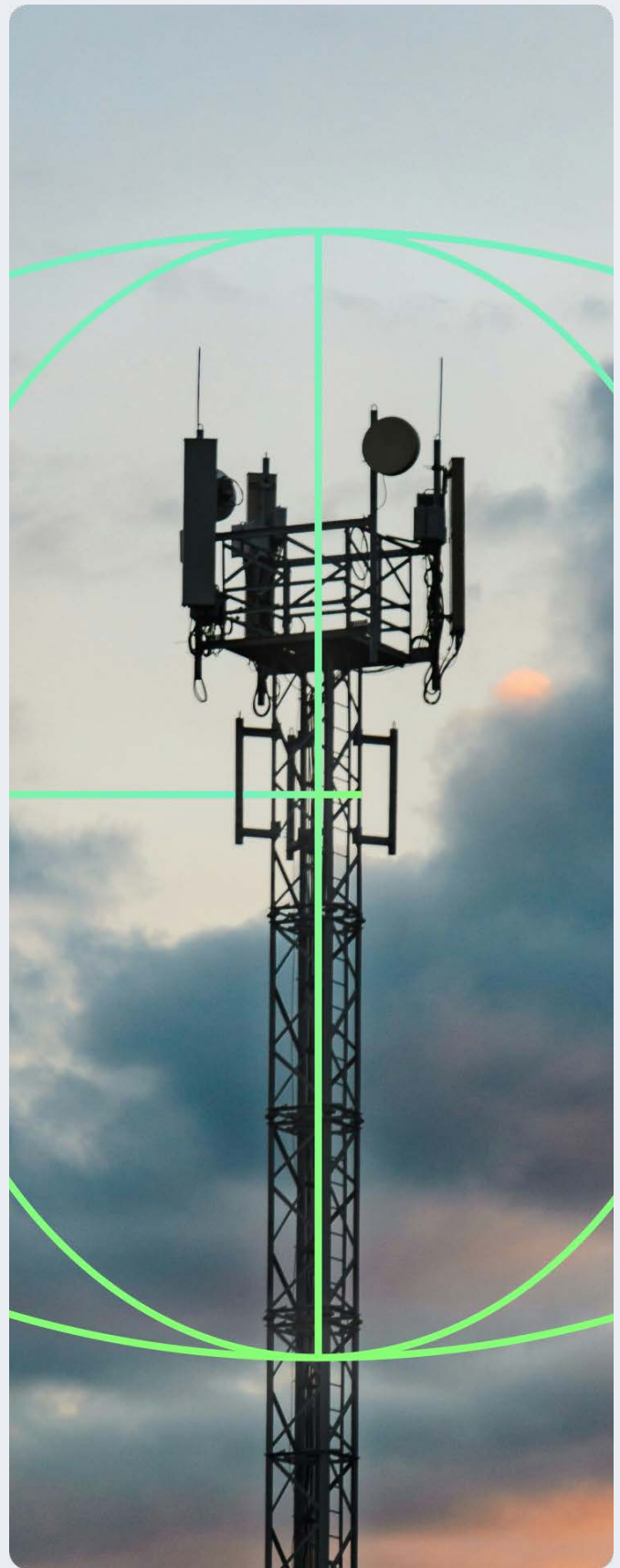
通信&ネットワーク

エンタープライズコンピューティングがAIとIoTの心臓だとすれば、通信とネットワークは動脈と神経になるかもしれません。AI、IoT、エッジコンピューティングは、当然ながらこの分野の重要な需要促進要因です。これらのパラダイムシフトはいずれも、通信とネットワークなしでは実現できません。

通信&ネットワークにおけるビジネスチャンスのランウェイは長期であるものの（特に米国の農村地域でのブロードバンドアクセスの推進を考慮すると）、5G「革命」への失望は、より良い結果を期待していた大手企業の予測に長い影を落としています。多くの製造業者は、売上が停滞したため、5G向けの電子部品の購入を中止しました。

しかし、フュージョンが2023年9月に発表したグリーンシートは、この業界の現状を肯定的に捉え、「AI業界におけるGPU需要はネットワーク製品市場にも波及し、NICカード、光ファイバケーブル、光トランシーバ、高速スイッチの需要を増大させています」と指摘しています。第4四半期初めの時点では、顧客は高価格帯の部品に注目しており、需要増に見合う生産ができず、リードタイムが延びています。

少なくとも業界の1社はこの流れに同調し、その結果見通しは強気となっています。MaxLinearは最近の決算発表で、企業が従来のDSLなどの古いテクノロジーから10ギガビットのPONファイバアクセスに移行する中、ブロードバンド事業の見通しは堅調であると主張しました。



将来性のあるその他の業界





家電

2020年、消費者によるパーソナルデバイスやウェアラブル、オーディオおよびビジュアルエンターテインメント、スマートホームデバイスの購入ペースは高頻度でした。その後、消費者向け電子機器部門が頭打ちになり、インフレ率が低下して消費力が低下し、電化製品やガジェットが買い物リストから外れました。さらに、材料費や人件費の上昇が圧迫を強めました。

驚くことではありませんが、家電業界の各社は互いに競争力を落とし、利益率を縮小しています。その結果、大幅な成長は見込めないと思われます。この部門は、約4%の緩やかな成長で2023年を終えました。この部門で強みを発揮するのは、冷蔵庫や洗濯機などの白物家電です。これらの永遠に欠かせない「必需品」は、2020年から2022年にかけて好調に推移し、2024年になってもなお需要があります。



ゲーミング

COVIDの間、ゲーミング業界は好景気に沸き、ある概算によると最盛期には20億人以上のプレイヤーにサービスを提供したと推定されています。しかし、リモートワークはまだゲーム開発に適していないため、この部門は2020年と2021年に苦難に直面しました。多くの人気ゲームの出荷が遅れ、多くのゲーマーがPlayStation 5を確保するために苦労したのです。しかし、ほとんどの家庭が裁量的支出を削減している間に価格が大幅に上昇したにもかかわらず、

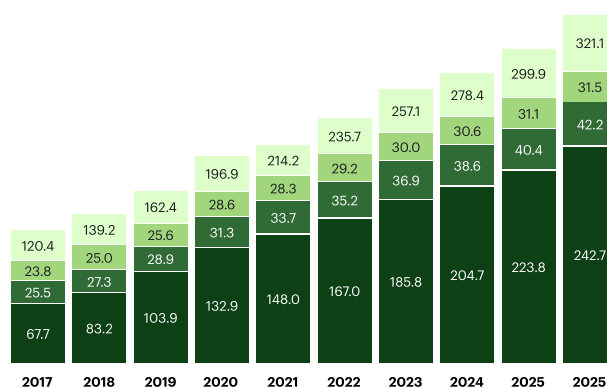
業界の状況はほぼ元に戻っており、顧客の健全なシェアは維持されています。例えば、世界経済フォーラムは、ゲーミング業界に対しては、2026年まで強気が続くとの予測を立てています。

ゲーミング業界の売れ筋は常にグラフィックであり、組み込みGPUに強く依存しています。ゲームが変化し、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)、人工知能 (AI) の利用が進む中、データが必要になっています。これは、ゲーミング業界の命運はデータセンターの成長にかかっているということです。AIと並び、ゲーミング部門は暗号通貨の衰退後に残された空白を埋めるのに役立つはずですが、PwCは、ゲーミング業界がエンターテインメントおよびメディア部門の世界支出の10.9%を占めていることから、2026年までに部門全体で2600億米ドルに達すると推定しています。

ダークホースとなりうる企業：産業機器は、シーケンシャルな機能を実行するために、不揮発性の高速プログラミングメモリを大量に必要とする傾向があります。マイクロンは、特にDRAMとNANDフラッシュの両方が供給不足に陥る可能性が高いため、メモリ市場のギャップを利用するために、産業分野で大きな波を起こす可能性があります。

全世界のビデオゲーム収益、セグメント別(十億米ドル)

■ ソーシャル/カジュアルゲーム ■ PCゲーム ■ コンソールゲーム
■ 統合型ビデオゲーム広告



注意: 2021年が最新の利用可能なデータです。2022年から2026年の値は予測値です。
ソース: PwCのGlobal Entertainment & Media Outlook 2022-2026, Omdia



ヘルスケア

医療機器の約50%は、半導体を必要としています。しかし、医療分野はもともと保守的であり、業界の購買傾向がそれを反映しています。毎年新しい機器を購入できる、または購入したいと考えている医療機関はほとんどありません。医療機関は伝統的に、埋没費用を補填するのではなく、サービスと修理に多額の投資を行っています。そして、買い替えの時には、控えめな台数を希望するのです。この業界独特な行動は、すぐには変わらないでしょう。

しかし、破壊的技術はこの分野に大きな意味を持ちます。新しい用途はパラダイムを変えるのでしょうか？例えば、AIには大きな可能性があり、患者を遠隔監視する機器の使用や診断機器のデジタル化が進んでいます。

2024年までに、医療とヘルスケアにおけるAIの導入は、わずか1年で45%増加するでしょう。



パーソナルコンピューティング

携帯電話とノートパソコンの売上が最後に大きく伸びたのは、2020年のことでした。デスクトップワークステーションの需要は長い間停滞していましたが、在宅勤務や学習に移行しなければならなくなったとき、誰もが新しいデバイス（場合によっては複数）を求めていました。需要は2021年、2022年、2023年には正常化しました。とはいえ、商品価格が上昇し、消費者が資金不足だったことで、収支は改善しませんでした。



全般的に、2024年の見通しは芳しくありません。パーソナルコンピューティングは、今後も不調傾向が続くと思われます。ノートパソコンやタブレットの需要は長く続いているものの、デスクトップワークステーションの需要はここ何年も停滞しています。しかし、2020年に購買意欲の旺盛な消費者が購入したデバイスの多くは、使用可能な寿命に近づいていると考えられるため、売上の増加、したがって、部品の需要のわずかな増加が予想されます。しかし、この増加が2024年になるか、2025年になるかは不明です。それまでは、この部門は現在の地位からこれ以上落ちることはないでしょう。

まとめ： 2024年の見通し



まとめ

電子部品業界は、次の暦年を迎えるにあたり、変曲点を迎えています。私たちはまだ、あらゆる業界に影響を及ぼした避けられない地政学的状況によってもたらされた回復の最中にいますが、重要な教訓を得て、それに従って再調整してきました。このような包括的なバロメータから見ると、電子部品業界は成長に向かっており、昨年の今頃よりも確実に回復していると言えるでしょう。

さらに、多くの部門での楽観的な見方と長いランウェイが、継続的な成長に良い兆しを見せています。また、保守政策によって意図しない結果が生じる可能性があるとしても、政府の投資と画期的なテクノロジーは、私たちの管轄下にある多くの国内部門に強い逆風をもたらしていると言っても過言ではありません。それでもなお、新たな世界的発展、頑迷な消費者行動、根強いサプライチェーンの問題など、複数の危険信号を無視することはできません。

私たちの業界が直面している最大の問題である、不確実性も同様です。AIは、私たち全員の期待、計画、投資に応じてくれることになるのでしょうか？それとも、5Gや暗号通貨と同じような運命をたどりながら、その可能性への道は険しくなるのでしょうか？米中の緊張は続くのでしょうか、それとも差し迫った世界的な危機が少しは和らぐのでしょうか？最近の北京における微妙な進展は、前向きな兆しを見せています。

多くの点で、2024年以降を乗り切ることは、特に回復力を獲得することに関しては、バランスを取る行為となるでしょう。例えばデロイトは、自給自足は多くの国にとっての目標であるものの、グローバルサプライチェーンはあまりにも複雑であり、米国や欧州が真に達成できるものではないことを認めています。同社は、「チップ製造業者と政策立案者の目標は、国内業界の能力を適切に自給自足できるようにする一方で、自給自足は達成できない可能性があることを認識することでしょう」と記しています。

新しい課題や地政学的な傾向が2024年以降に発生することは間違いありません。フュージョン・ワールドワイドは、公開市場をナビゲートし、次に何が起こるか分からない状況に対して積極的に計画を立てるためにマーケット・インテリジェンスを駆使しつつ、より良いビジネス上の意思決定を行えるようお客様のお手伝いをいたします。



[グリーンシート](#)をご購読いただければ、IC、CPU、メモリ、完成品に関する毎月のトレンドレポートを詳しく調べることができます。



最新のニュース、需要予測、生産能力の拡大、供給トレンドについては、四半期ごとに発表される製造業者の決算発表のレビュー、[From The Source's Mouth](#)をご一読ください。



エレクトロニクス業界の需要と供給のバランスに関する、フュージョン・ワールドワイドのサプライヤーやお客様からの直接情報を提供する、隔週発行の[インダストリーインサイダー](#)をご購読ください。



最新ニュース、市場インサイト、業界トレンドについては、当社のソーシャルメディアをフォローしてください。



お問い合わせ

fusionww.com

+1 617 502 4100

ソーシャルメディア のフォロー

 [LinkedIn](#)

 [Twitter](#)

 [Facebook](#)

資料

[インダストリーインサイダー](#)

[グリーンシート](#)

[四半期業績分析](#)



www.prosemi.com.sg

